



7/1 集落支援員委嘱状交付式

地域課題解決の支援を行う集落支援員として、牧一香さん（志布志小学校区コミュニティ協議会）、に委嘱状を交付しました。地域密着で担当地域の活性化を目指します。



6/27 キラリ輝く「しぶしっ子」育成講演会

日本一学校を回るお笑いコンビ「オシエルズ」が、市文化会館で講演会を行いました。いじりといじめの違いを分かりやすく伝えました。また、子供と即興のコントで会場を笑顔に包みました。



7/1 地域活性化起業人委嘱状交付式

市は空家対策等推進アドバイザーとして、株式会社ネクスウィルの鎌野光治郎氏へ副業型地域活性化起業人を委嘱しました。今後は市内の空家対策全般の業務に携わり、地域活性化への貢献が期待されます。



7/1 集落支援員委嘱状交付式

市は田浦天志内之倉郵便局長、若松俊二有明郵便局長、松山武松山郵便局長へ集落支援員を委嘱しました。広域での高齢者の見守り活動など、郵便局の強みを生かし連携していきます。



7/6 地域活性化へ新たな一歩！

本市は、株式会社 Another works(アナザーワークス)に所属する工藤大樹氏と地域活性化起業人制度に関する協定を締結しました。今後は、地域独自の魅力や向上、地域活性化に向けて取り組みます。



7/2 セカンドブックを贈呈(伊崎田学園)

市教育委員会は、読書に親しむ機会と読書習慣を身に付けることを目的に、市内全ての小学1年生にセカンドブックを贈呈しました。伊崎田学園では、福田教育長からの贈呈および読み聞かせが行われました。



▲蓬原小での記念撮影

◀感謝を伝える児童(有明小)

社明 地域のチカラで支えよう ～社会を明るくする運動～

6月30日、曾於保護区保護司会志布志支部の皆さんが市長室を訪れ、社会を明るくする運動の内閣総理大臣メッセージの伝達が行われました。「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と、更生について理解を深め、安全で安心な地域社会を築くことを目指す運動で、毎年7月を強調月間と定めています。7月8日には、同保護司会有明地区と同地区更生保護女性会の皆さんで、有明町内の小・中学校を訪問し、手製雑巾の寄贈が行われました。各学校からは、「清掃などで大切に活用します。」と感謝が述べられていました。



7/22 災害時に備え、無人航空機の活用

市は、株式会社スカイウォーカー（大工龍也代表取締役）と災害時等における無人航空機を活用した支援活動に関する協定を締結しました。この協定は、災害発生時に市が同社へ協力を要請する際の基本事項を定めたもので、被災状況の迅速な情報収集や被災者救助の支援など、多様な支援活動が期待されます。

また、災害の危険性がある箇所の状況確認や空撮を行うことで、災害の未然防止や早期対応につなげることができます。ドローンの特性の効果的な活用により、本市の地域防災力の向上が期待されます。



7/14 学校給食に鰻がやってきた！

学校給食センターでは、「今日食べたものが明日の自分をつくる」をテーマにした「TAMORROW(タモロウ)プロジェクト」を進めています。このほど、地域特産品である「うなぎ」をテーマに、山田水産株式会社とともに学校を訪問し、子どもたちへ食の大切さやうなぎの魅力、日本の食文化について伝えました。給食でうなぎのかば焼きも提供され、子どもたちは地元の味を楽しみながら学びを深めました。地産地消や食品ロス削減への意識を高め、SDGsの推進にもつながる取組です。